

上村松園・松篁・淳之 三代展

平成26年10月11日(土) - 11月24日(月・振休)

※会期中無休

会場 パラミタミュージアム 2階展示室

開館時間 午前9時30分～午後5時30分(最終入館は午後5時まで)

入館料 一般 1,000円(4枚セット券 3,000円) / 大学生 800円 / 高校生 500円 / 中学生以下 無料

関連イベント

10月26日(日)午後2時～
松伯美術館 館長 上村淳之氏による特別記念講演会

同時開催

10月1日(水)～11月24日(月・振休)
生誕100年 浅野弥衛 -詩情の線刻象嵌画-

[主催] 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

[後援] 中日新聞社、伊勢新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、
日本経済新聞社名古屋支社、三重テレビ放送、三重エフエム放送

[協力] 公益財団法人 松伯美術館



上村松園「鼓の音」 昭和15年(1940) 松伯美術館

上村 松園・松篁・淳之 三代展

近代美人画の大家として、女性初の文化勲章を受章した上村松園(1875～1949)は、明治8年京都に生まれました。円山・四条派の流れを汲む鈴木松年をはじめ、幸野樗嶺、竹内栖鳳に学び、京部の風俗、歴史、謡曲などに取材した気品に満ちた女性像を描き、現在も多くの人々を魅了してやみません。

そして松園の子息、松篁(1902～2001)は母と同じ日本画でありながら独自の世界観を展開させ、生涯にわたり気品あふれる花鳥画を描き、昭和59年には母子二代にわたり文化勲章を受章しました。さらには松園の孫であり、祖母、父と同じ日本画家の道を歩む淳之(1933～)。淳之は東洋独自の絵画表現を模索しながらも、次世代へと繋がる花鳥画を現在も描き続けています。平成7年に日本芸術院賞受賞、平成25年には文化功労者として顕彰を受けました。

今回は奈良市にある松伯美術館所蔵の名品を中心に約50点展示し、三人が生み出した作品を通してそれぞれが追い求めた画業の真髄に迫ります。この機会に松園・松篁・淳之、親子三代 約一世紀にわたり受け継がれる美の系譜をぜひご堪能下さい。



上村松園「花見」 明治43年(1910)



上村松園「娘」 大正15年(1926)



上村松篁「春園鳥語」 昭和4年(1929)



上村松園「楊貴妃」 大正11年(1922)



上村松篁「丹頂」(一対) 昭和55年(1980)



上村淳之「秋映」 平成9年(1997)



上村淳之「夕日に」 昭和56年(1981)

※画像作品はすべて松伯美術館所蔵

次回展示のお知らせ

会期 平成26年11月28日(金)～平成27年1月25日(日) 会期中無休(但し、年末年始は休館となります)

江里康慧・江里佐代子展

細く切り分けた金箔で模様を描く截金(きりかね)は仏像を荘厳する技法として古くから伝えられてきました。本展では、大佛師・江里康慧の仏像とともに、パラミタミュージアム所蔵の江里佐代子作の截金作品、平安佛所(江里康慧・江里佐代子らの工房)に遺された江里佐代子の貴重な作品を合わせて展示します。

- お車をご利用の場合/東名阪「四日市I.C.」より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。■ 無料駐車場有り(普通車100台、大型/バス駐車可)
- 電車をご利用の場合/近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分、「大羽根園駅」下車、西へ300m。■ 全館バリアフリー、車椅子常備

paramitamuseum
公益財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com http://www.paramitamuseum.com



パラミタミュージアム 検索